



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月3日  
東

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社 上場取引所  
 コード番号 7705 URL <https://www.gls.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長見 善博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 芹澤 修 (TEL) 03-5323-6633  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,275	13.0	2,522	41.4	2,591	37.1	1,359	37.8
2020年3月期第3四半期	17,943	△1.8	1,784	△22.7	1,890	△22.8	986	△33.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,973百万円(79.1%) 2020年3月期第3四半期 1,101百万円(△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	132.50	—
2020年3月期第3四半期	96.18	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	36,794	26,353	61.5
2020年3月期	33,091	24,742	64.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 22,644百万円 2020年3月期 21,392百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,540	4.0	3,190	17.4	3,190	13.1	1,940	18.8	188.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,190,000株	2020年3月期	11,190,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	930,159株	2020年3月期	930,101株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	10,259,859株	2020年3月期3Q	10,259,918株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により依然として景気減速が続いており、感染者数の状況は、特定の国や地域で再拡大も見られ、各国政府による急ピッチでのワクチン接種が進められておりますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として、取引先に対してはオンライン商談やウェビナーを活用した営業活動を可能な範囲で行っており、従業員に対しては時差出勤・在宅勤務・出張制限等の対策を実施しております。また、今年度は2018年度からスタートした中期経営計画(3カ年)の最終年度として、計画達成に向けて可能な範囲で、成長と収益力及び品質の向上、海外戦略の推進、人材基盤や情報管理の強化等に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、20,275百万円(前年同期比 13.0%増)となりました。損益につきましては、営業利益 2,522百万円(前年同期比 41.4%増)、経常利益 2,591百万円(前年同期比 37.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,359百万円(前年同期比 37.8%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (分析機器事業)

分析機器事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響でますます活動が制限される中、一部の研究開発活動の停滞がみられ、国内は製薬をはじめ多くの分野で前年同期比で減収となりました。海外ではインドと北米が回復基調で推移し前年同期比で増収となりました。国内減収分を海外で補いましたが売上高全体では前年同期比で微減となりました。

装置の売上高につきましては、官公庁、大学を中心に入札延期などの影響で装置全体では前年同期比で減収となりました。

消耗品の売上高につきましては、国内では多くの分野で動きが鈍く減収となりました。海外では、インドや北米で液体クロマトグラフ用カラムを中心に回復傾向で増収となりました。消耗品全体では前年同期比で微増となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 10,181百万円(前年同期比 1.7%減)、営業利益は 753百万円(前年同期比 0.2%増)となりました。

#### (半導体事業)

半導体業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地で広がる中、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータ量が増加し、データセンターなどのインフラ需要は急激に拡大しています。また、足元では、自動車産業の急激な回復を背景に、車載向けを中心とした半導体需給の逼迫が顕在化している状況です。新しい行動様式の下では、5GやAI、IoT、自動運転等の需要がますます高まると見込まれ、中長期的には半導体需要は着実に拡大していくと思われま。

このような環境の中、当事業は、これまでに蓄えた豊富な受注残高と、工場の高稼働に伴う量産効果を背景に、売上高・利益ともに計画を大幅に上回る水準まで積み上げることができました。また、受注残高につきましては、2019年秋頃から拡大傾向に転じ、2020年夏には過去最高レベルの水準に達しましたが、足元では、更にそれを上回る水準で推移している状況です。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 9,268百万円(前年同期比 38.4%増)、営業利益は 1,866百万円(前年同期比 72.0%増)となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により顧客での予算優先順位が変わり、設備投資が先送りになったこと等により、売上高は前年同期比で減少となりました。

製品分類毎の売上高は、「モジュール」では警備機器関連が堅調を維持し前年同期を上回りました。「完成系」では文教業界での予算先送り等が影響し前年同期を下回り、「ソリューション」はシステム製品の設置工事の延期が継続したため前年同期を下回りました。「タグカード」は住居関連向けタグが堅調を維持したことで前年同期を上回りました。

また、当事業の構造改革を進める一環として過剰在庫の評価減を行い相当額を売上原価に算入しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は825百万円(前年同期比7.5%減)、営業損失は95百万円(前年同期は営業損失57百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は現金及び預金の減少やたな卸資産の増加などにより21,957百万円(前連結会計年度末に比べ1,558百万円の増加)となりました。固定資産は建物及び構築物や土地の増加などにより14,836百万円(前連結会計年度末に比べ2,144百万円の増加)となりました。その結果、資産合計では36,794百万円(前連結会計年度末に比べ3,702百万円の増加)となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は支払手形及び買掛金や短期借入金の増加などにより7,134百万円(前連結会計年度末に比べ842百万円の増加)となりました。固定負債は長期借入金の増加などにより3,305百万円(前連結会計年度末に比べ1,249百万円の増加)となりました。その結果、負債合計では10,440百万円(前連結会計年度末に比べ2,091百万円の増加)となりました。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は利益剰余金の増加などにより26,353百万円(前連結会計年度末に比べ1,610百万円の増加)となりました。自己資本比率は61.5%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,891,020	5,766,277
受取手形及び売掛金	8,428,722	8,555,488
商品及び製品	1,664,197	2,293,785
仕掛品	2,147,955	2,561,035
原材料及び貯蔵品	2,148,571	2,355,492
その他	144,785	449,631
貸倒引当金	△26,342	△24,434
流動資産合計	20,398,910	21,957,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,897,936	5,581,802
土地	3,406,791	4,159,745
その他（純額）	3,228,717	2,725,495
有形固定資産合計	10,533,445	12,467,043
無形固定資産	351,959	494,709
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	118,933
その他	1,808,825	1,758,010
貸倒引当金	△1,731	△1,872
投資その他の資産合計	1,807,094	1,875,071
固定資産合計	12,692,499	14,836,824
資産合計	33,091,409	36,794,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,025,995	3,249,646
短期借入金	1,425,179	2,110,898
未払法人税等	306,734	411,307
賞与引当金	565,811	312,630
その他	968,640	1,050,408
流動負債合計	6,292,361	7,134,891
固定負債		
長期借入金	1,425,209	2,582,824
役員退職慰労引当金	86,361	104,532
退職給付に係る負債	214,458	134,704
その他	330,313	483,621
固定負債合計	2,056,342	3,305,682
負債合計	8,348,704	10,440,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,820,956	1,816,202
利益剰余金	18,755,279	19,806,922
自己株式	△509,326	△509,450
株主資本合計	21,274,704	22,321,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,198	319,394
繰延ヘッジ損益	41	△2,566
土地再評価差額金	△312,234	△312,234
為替換算調整勘定	152,594	147,482
退職給付に係る調整累計額	52,910	170,745
その他の包括利益累計額合計	117,510	322,821
非支配株主持分	3,350,489	3,709,236
純資産合計	24,742,705	26,353,526
負債純資産合計	33,091,409	36,794,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	17,943,650	20,275,640
売上原価	11,858,445	13,395,703
売上総利益	6,085,205	6,879,937
販売費及び一般管理費	4,300,965	4,357,599
営業利益	1,784,239	2,522,338
営業外収益		
受取配当金	27,604	22,727
為替差益	38,953	—
還付金収入	23,491	—
補助金収入	16,808	124,482
その他	17,154	64,174
営業外収益合計	124,011	211,383
営業外費用		
支払利息	15,227	19,373
為替差損	—	73,937
その他	2,030	48,735
営業外費用合計	17,258	142,046
経常利益	1,890,993	2,591,675
特別利益		
投資有価証券売却益	—	88,768
固定資産売却益	299	—
特別利益合計	299	88,768
特別損失		
固定資産売却損	—	103
固定資産除却損	12,341	15,361
投資有価証券評価損	—	3,356
特別損失合計	12,341	18,821
税金等調整前四半期純利益	1,878,952	2,661,621
法人税、住民税及び事業税	456,327	771,072
法人税等調整額	155,985	111,728
法人税等合計	612,312	882,801
四半期純利益	1,266,640	1,778,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	279,797	419,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	986,842	1,359,439

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,266,640	1,778,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,437	92,967
繰延ヘッジ損益	2,063	△2,608
為替換算調整勘定	△185,108	△13,198
退職給付に係る調整額	△22,221	117,834
その他の包括利益合計	△164,829	194,995
四半期包括利益	1,101,810	1,973,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	886,528	1,564,749
非支配株主に係る四半期包括利益	215,281	409,066

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。